

播磨町「協働のまちづくり宣言」

わたしたちは播磨町の未来に向かって、みんなで考え、
みんなで話し合い、みんなの力を合わせて、人と人がつながる
まちづくりを実現するため、「協働のまちづくり」を宣言します。

わたしたちは

1. 自分たちのまちをみんなでつくる、参画と協働のまちづくりを行います。
1. 誰もがまちに興味をもち、楽しく地域活動に参加できるまちづくりを行います。
1. 誰もが情報にふれやすく、まちの動きがわかるまちづくりを行います。
1. ひとりひとりが手をとりあい、地域コミュニティに根ざしたまちづくりを行います。

播磨町は、令和4年5月29日、町制施行60周年記念式典にて「協働のまちづくり宣言」を行いました。

知っておきたいキーワード

協働：住民と行政がそれぞれの特性を認め合い、それぞれの特性を活かし合い、信頼関係の元で役割分担をして、対等な立場でまちづくりに取り組むことを言います。

参画：住民と行政がお互いの地域活動に対してその企画・立案から加わり、知恵と力を出し合いながら、企画の実現に向けて取り組むことを言います。

住民：播磨町在住者、在勤・在学者、町内に所在する事業者、団体、学校園及び播磨町のまちづくりに関心を持っている人すべてを指します。

2022.10 発行

発行 播磨町

編集 播磨町協働推進課

イラスト 藤川真紀、市川貴士

〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号

TEL 079-435-0355(代表)

FAX 079-435-3398

URL <https://www.town.harima.lg.jp/>

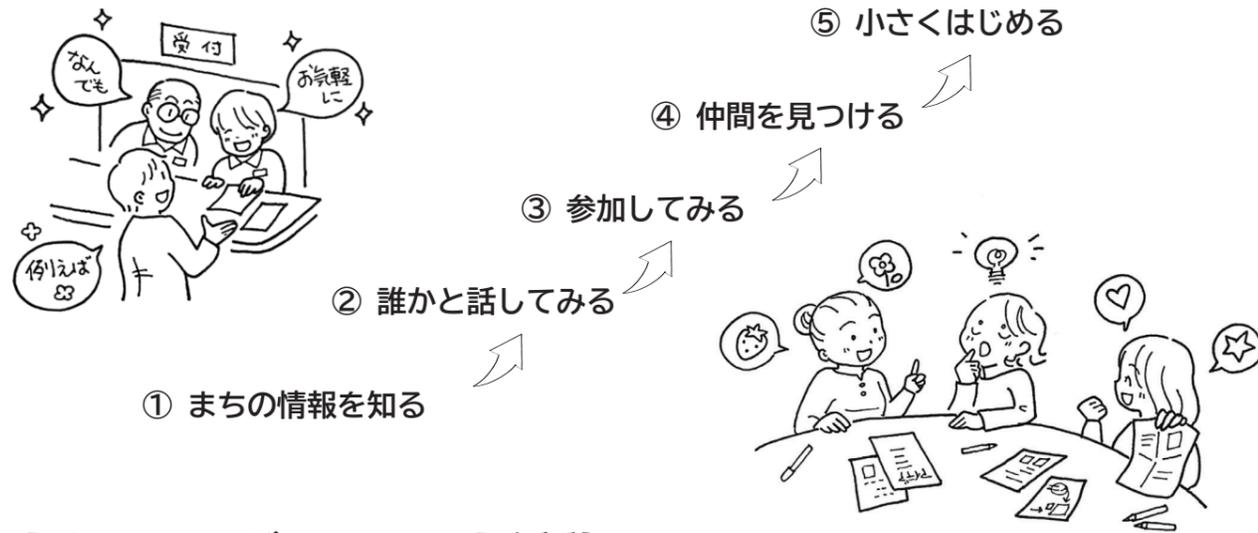


「これからのまちづくりの話をしよう」

わたしたちが暮らす播磨町は、兵庫県で一番小さい自治体です。コンパクトな町域に3万人以上の方が暮らしています。最近では、自治会やこども会など、地域活動に関わる人たちが減り、さらに、ご近所同士のお付き合いも少なくなるなど、昔と比べると、人と人のつながりも薄くなりつつあります。人のつながりは、日々の暮らしから災害まで、私たちの生活を支える力になります。人と出会いつながることは、「まちづくり」の第一歩です。わたしたちの未来のため、人と人がつながって、みんなで力を合わせる「協働のまちづくり」について、一緒に考えてみませんか？

「楽しい」や「気になる」からはじまる

地域での活動の多くは、個人の「楽しい」や「気になる」がきっかけになってはじまります。まずはまちの情報を知り、気になることは家族や知り合いと話してみましょう。まずは話すこと、それがきっかけになります。



まちなかでひろがるいろんな活動

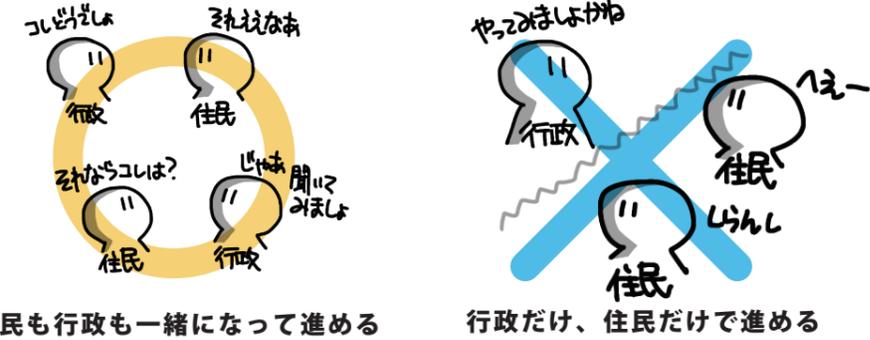
小さくはじめた活動から、いろんな人とつながっていきます。お互いの強みを活かし、もっと暮らしやすいまちにするために自分たちができることを考えてみましょう。地域の困りごとを解決するヒントが見つかるかもしれません。



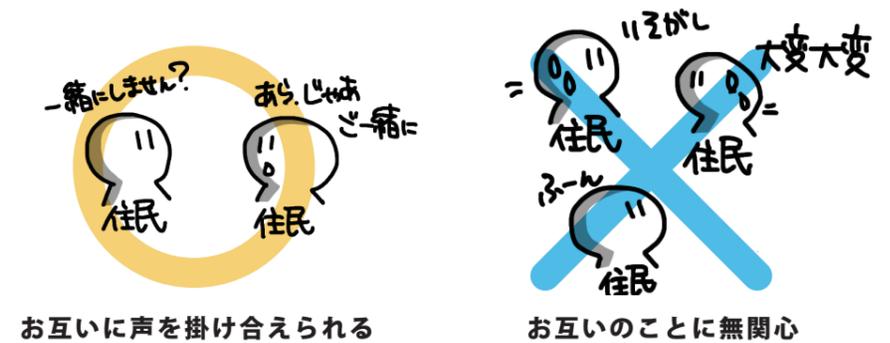
4つの考え方

播磨町の協働のまちづくりは4つの考え方を中心にすすめます。

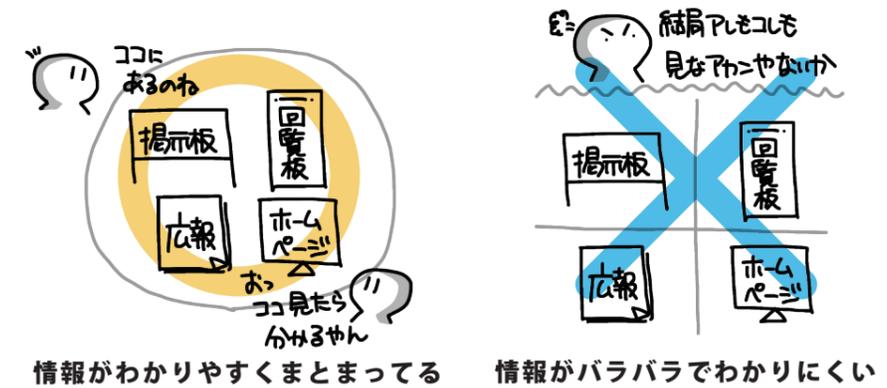
① 住民が積極的に参画できる協働のまちづくり



② まちづくりに参加するためのきっかけづくり



③ 地域情報を得やすくするための見える化



④ 効果的・効率的に活動できるための仕組みづくり

